

平成20年11月の結果 (二人以上の世帯)

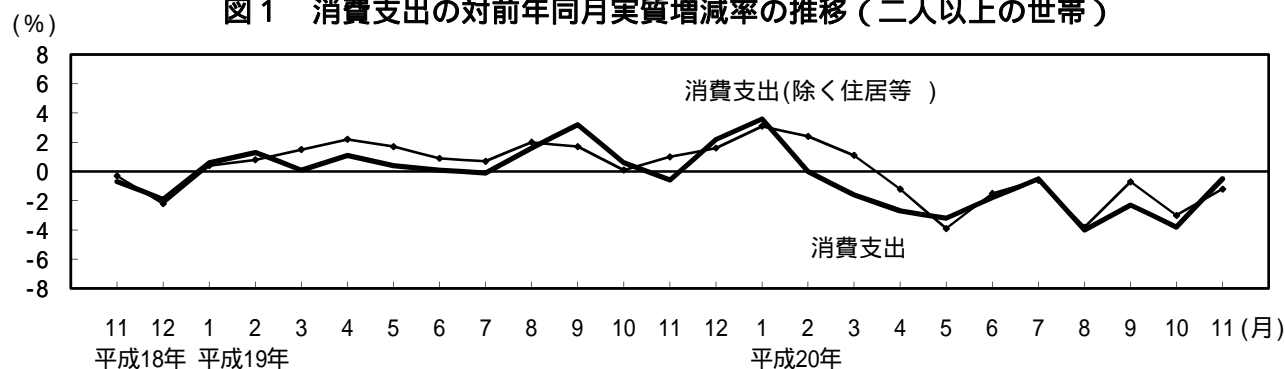
二人以上の世帯

消費支出は、1世帯当たり 284,762 円
 前年同月比 実質 0.5%の減少 前月比(季節調整値) 実質 3.1%の増加
 消費支出(除く住居等)は、
 前年同月比 実質 1.2%の減少 前月比(季節調整値) 実質 3.1%の増加
 うち勤労者世帯の実収入は、
 前年同月比 実質 0.3%の減少

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。以下同じ。

1 消費支出の推移

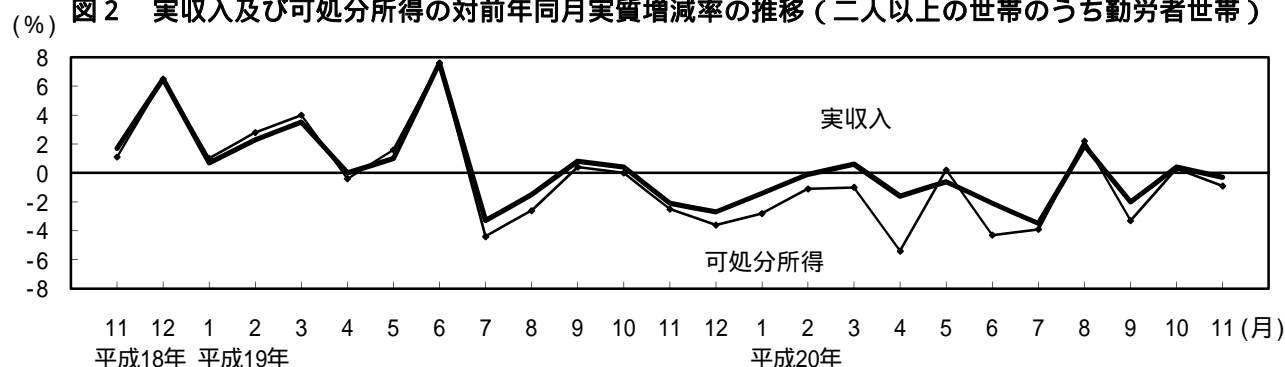
図1 消費支出の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯)



	平成19年		平成20年										
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
消費支出	-0.6	2.2	3.6	0.0	-1.6	-2.7	-3.2	-1.8	-0.5	-4.0	-2.3	-3.8	-0.5
消費支出(除く住居等)	1.0	1.6	3.1	2.4	1.1	-1.2	-3.9	-1.5	-0.6	-3.8	-0.7	-3.0	-1.2

2 勤労者世帯の収入の推移

図2 実収入及び可処分所得の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



	平成19年		平成20年										
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
実収入	-2.1	-2.7	-1.4	-0.1	0.6	-1.6	-0.6	-2.1	-3.5	1.9	-2.0	0.4	-0.3
可処分所得	-2.5	-3.6	-2.8	-1.1	-1.0	-5.4	0.2	-4.3	-3.9	2.2	-3.3	0.3	-0.9
消費支出	-1.5	1.8	3.0	1.4	-0.2	-0.6	-0.9	0.3	-0.1	-3.1	-3.4	-6.0	1.2
平均消費性向*	0.8	2.5	5.1	1.8	0.7	4.4	-1.0	2.4	2.6	-4.4	-0.1	-5.2	1.8

*：対前年同月ポイント差

3 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（平成20年11月 - 二人以上の世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減率への寄与度(%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	284,762	0.7	-0.5	-0.5		9 か月連続の実質減少
食 料	68,510	4.2	0.5	0.11	<増 加> 外食,肉類など	9 か月ぶりの実質増加
住 居	16,992	0.7	0.1	0.00	<増 加> 設備修繕・維持	4 か月ぶりの実質増加
光 熱 ・ 水 道	20,302	0.3	-4.3	-0.31	<減 少> 他の光熱,上下水道料など	8 か月連続の実質減少
家具・家事用品	10,136	-0.9	-1.1	-0.04	<減 少> 寝具類,家事サービスなど	2 か月連続の実質減少
被 服 及 び 履 物	14,547	1.8	1.3	0.06	<増 加> 洋服,他の被服など	2 か月ぶりの実質増加
保 健 医 療	13,544	-2.7	-2.2	-0.11	<減 少> 保健医療サービス,医薬品	7 か月連続の実質減少
交 通 ・ 通 信	37,935	8.4	11.0	1.35	<増 加> 自動車等関係費,交通	2 か月ぶりの実質増加
教 育	9,506	-8.1	-8.7	-0.32	<減 少> 授業料等,教科書・学習参考教材	3 か月ぶりの実質減少
教 養 娛 楽	30,290	3.8	4.3	0.45	<増 加> 教養娯楽用耐久財,教養娯楽サービスなど	2 か月ぶりの実質増加
その他の消費支出	63,002	-6.0	(-7.1)	(-1.68)	<減 少> こづかい,仕送り金など	8 か月連続の減少

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。ただし、「その他の消費支出」については名目増減率の大きい項目を掲載した。

2 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中 分 類

品 目

< 減少項目 >

実質寄与度

交際費	[-0.35]	贈与金,住宅関係負担費
授業料等	[-0.31]	専修学校,私立高校
通信	[-0.28]	固定電話通信料,携帯電話通信料
家賃地代	[-0.25]	民営家賃,給与住宅家賃
諸雑費	[-0.22]	祭具・墓石,装身具
保健医療サービス	[-0.18]	医科診療代,他の入院料*

< 増加項目 >

自動車等関係費	[1.42]	自動車購入,ガソリン
教養娯楽用耐久財	[0.47]	テレビ,パーソナルコンピュータ
外食	[0.27]	洋食,ハンバーガー
設備修繕・維持	[0.25]	設備器具,外壁・塀等工事費
交通	[0.17]	鉄道運賃,鉄道通勤定期代

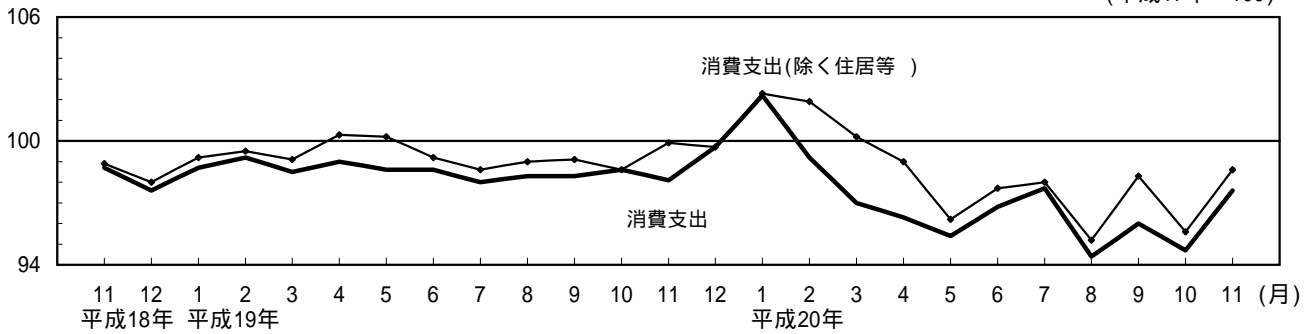
注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

* 「他の入院料」とは、「出産入院料」以外の入院料をいう。

図3 消費支出（季節調整済実質指数）の推移（二人以上の世帯）

（平成17年 = 100）



	平成19年		平成20年										
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
消費支出	98.1	99.7	102.2	99.2	97.0	96.3	95.4	96.8	97.7	94.4	96.0	94.7	97.6
対前月変化率(%)	-0.5	1.6	2.5	-2.9	-2.2	-0.7	-0.9	1.5	0.9	-3.4	1.7	-1.4	3.1
消費支出(除く住居等)	99.9	99.7	102.3	101.9	100.2	99.0	96.2	97.7	98.0	95.2	98.3	95.6	98.6
対前月変化率(%)	1.3	-0.2	2.6	-0.4	-1.7	-1.2	-2.8	1.6	0.3	-2.9	3.3	-2.7	3.1

注 季節調整の方法は、センサス局法(X12-ARIMAのX11デフォルト、管理限界2 ～3)を用いた。

4 勤労者世帯の収支

表2 収支の内訳（平成20年11月 - 二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減率への 寄与度 (%)	備 考
		名 目	実 質		
実 収 入	439,394	0.9	-0.3	-0.3	2 か月ぶりの実質減少
世 帯 主 収 入	367,901	0.6	-0.6	-0.53	3 か月連続の実質減少
定 期 収 入	363,686	1.2	0.0	0.01	
配 偶 者 の 収 入	49,722	3.3	2.1	0.22	6 か月連続の実質増加
う ち 女 性	49,174	3.3	2.1	0.23	6 か月連続の実質増加
他の世帯員収入	9,077	-3.3	-4.4	-0.10	3 か月ぶりの実質減少
非 消 費 支 出	72,730	3.9	-	-	6 か月連続の増加
可 処 分 所 得	366,664	0.3	-0.9	-	2 か月ぶりの実質減少
消 費 支 出	310,146	2.4	1.2	-	5 か月ぶりの実質増加
平均消費性向(%)	84.6	(前年同月) (ポイント差)			季節調整値でみると、75.2%で、前月に比べ、5.6ポイントの上昇となった。
		82.8	1.8		